

## 第三期子ども・子育て支援事業計画のニーズ調査票（案）の意見に対する回答

番号	第31回会議にて頂いたご意見	回答（対応内容）
1	<p>●該当ページ…就学前児童 表紙 「就学前」という表現では、0歳や1歳の親が対象ではないととらえるかもしれない。「0から5歳児のアンケート」に変えて、自分も当事者であることをわかるように工夫する必要があるのではないのでしょうか。</p>	対象をわかりやすくするため、「 <u>就学前児童（0歳～小学校入学前まで）</u> 」に統一します。
2	<p>●該当ページ…就学前児童 11ページ・問19 選択肢1「自宅」の範囲が不明確であるので、より詳細に表現できないでしょうか。</p> <p>選択肢5「児童館」は本市にはないですが選択肢に含めますか。また、選択肢9「その他（公民館、公園など）」の公民館は市内に1か所のみであるため、固有名称を入れるほうが分かりやすいのではないのでしょうか。</p> <p>選択肢3「放課後児童会」、選択肢4「放課後子ども教室」、選択肢8「放課後デイサービス」の違いが分かりにくいいため、注釈が必要であると思います。</p> <p>また、藤井寺市の市外に放課後のサービスを利用したいと考えている人の把握ができる設問があればいいのではないのでしょうか。</p>	<p>本設問では幅広く回答いただくため、市内・市外は問わないこととします。</p> <p>選択肢1は「<u>自宅（同居の家族と過ごす）</u>」に修正します。</p> <p>選択肢3・4・8の「放課後」がついている事業等については、注釈を追記します。就学児童用の調査票においても、当該事業（「放課後児童会」を除く）の初出箇所に注釈を追記します。</p> <p>選択肢9は、例示を削除し、単に「<u>その他</u>」に変更します。</p>
3	<p>●該当ページ… 就学前児童16ページ・問28／就学児童 11ページ・問22 市内の子育て支援サービスがどの程度認知されているのか疑問であるため、認知度を尋ねる設問があっても良いのではないのでしょうか。</p>	市内の子育てサービスの認知度と必要性（効果があるか）の2つを尋ねる設問とします。
4	<p>●該当ページ…就学前児童 18ページ・問31／就学児童 10ページ・問21 不登校の方がどの程度いらっしゃるのか、そのような方の居場所はあるのかといった点について尋ねる設問があればいいのではないのでしょうか。</p>	<p>不登校に関しては、国（毎年）・府（学期毎）・市（毎月）調査等により市教委で把握しているため、設問は追加しません。</p> <p>しかし、不登校児に限らず全ての子どもたちが自由に集い、繋がれる居場所の必要性を訪ねる設問がなかったため、「地域での子育て」に関する設問で選択肢を追加します。（就学前児童 19ページ・問33／就学児童 13ページ・問25）</p>
5	<p>●該当ページ…就学前児童 19ページ・問33／就学児童 13ページ・問25 子どものデジタル力が課題になっている現状を踏まえて、関連する設問を追加してもよいのではないのでしょうか。</p>	子どものデジタル力を問う設問については、市教委において、児童に対して授業・定期的な調査（活用状況・効果等）を行っているほか、保護者に対してもICTに関する説明を定期的に行っているため、設問は追加しません。
6	<p>●該当ページ…その他 日本語がわからない外国人の保護者に向けて、英語版等の調査票を作成してもよいのではないのでしょうか。</p>	英語版等の調査票は作成しませんが、本調査に関する問い合わせ、普段の生活での困りごとなど、適宜問い合わせいただけるような内容を同封する協力依頼文に記載します。
7	<p>●該当ページ…表紙 アンケート調査票に記載されている事業名を、『子育てマップ』等の既存資料と結びつけることで回答しやすくなるのではないのでしょうか。また、そうすることで市の資料の周知にもつながるのではないのでしょうか。</p>	調査票に記載している事業について確認できるよう、子育て情報冊子「子育てマップ藤井寺」の情報を記載（市HPに誘導）します。
8	<p>●該当ページ…その他 送付された調査票が市の公式のアンケートであると伝わるような工夫はできないのでしょうか。</p> <p>市の広報以外の媒体での周知策はないのでしょうか。</p> <p>アンケートが市民にも意義・利益があるものだと伝えることが必要だと思います。また、アンケートが市民にどのように影響していくのかという点をロードマップとして提示することも効果的ではないのでしょうか。</p>	<p>調査票や協力依頼文に本調査の趣旨等をイメージしやすくなるよう記載します。</p> <p>調査実施時には、広報紙だけでなく、市SNSなどを利用した周知を複数回行うことなどにより、回収率のアップを目指します。</p>